

第8回大津市新型コロナウイルス感染症危機対策本部会議 概要

◎大津市内の有料老人ホームとデイサービス施設において集団感染が発生したことから、その現状について情報共有を図るために本部会議を開催したものを。

1 日時 令和2年8月24日（月）15時00分～15時15分まで

2 場所 災害対策本部室

3 出席者 市長、副市長、各部局長等（約20人）

4 内容

(1) 市長メッセージ

別紙のとおり（会議資料参照）

(2) 市内の老人ホームとデイサービス施設における感染状況について

【健康保険部】

- ・8月19日、積極的疫学調査により、関連のある2つの事業所（老人ホームとデイサービス施設）において、複数名の患者発生を確認。
- ・8月19日～23日までで、合計19名の患者発生（老人ホーム関連11名、デイサービス施設関連8名）。
- ・検査状況としては、老人ホームは60名全て検査結果判明済み、デイサービス施設は職員は検査結果判明済みで、利用者44名が検査待ち。
- ・調査と指導状況は、8月19日から疫学調査を実施し、必要な感染対策物資を搬入。
8月21日に保健所、介護保険課、県コントロールセンター職員による実地指導。
8月22日に県クラスター対策チームとの合同調査、実地指導。
8月23日、24日にも引き続き調査及び支援の実施。
- ・その他、市の介護施設向け支援・指導状況について説明。

(3) 市長からの指示等

- ・市内の集団感染に伴い、広範囲で調査が行われていることから、各部局間での情報共有をはかり、迅速な対応を求める。
- ・保健所の体制強化についてはこれまでも強化してきたが、これまでの県内の集団感染に加え、市内での集団感染も発生したことから、保健所の体制について、各部局それぞれの立場でご協力いただきたい。
- ・県内でもクラスターが多発しており、誹謗中傷、差別など多くの事例が報告されている。私自身もそういった誹謗中傷等がないよう周知していくが、各部局の対応のなかで、感染者、濃厚接触者の人権を守る対応をすること。